

7月保健だより

令和4年6月30日発行
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
かすみ保育園



傷口に消毒薬は使用しないほうがよいのはなぜ？



傷ができると、ついつい消毒したくなりますよね。でも、消毒液にはマイナス面もあります。悪い菌を攻撃すると同時に、傷を治そうとする細胞や浸出液にも攻撃をかけてしまい「常在菌」という良い菌まで死んでしまいます。消毒薬は傷口を刺激し、かえって傷を悪化させてしまいます。擦り傷や切り傷は、消毒はせず水道水できれいに洗うことが大切です。園でも傷口は流水で洗い必要に応じて消毒をしています。傷の治療方法として最近では、傷口を乾かさない「浸潤療法」が主流になっています。傷口に潤いを保たせたまま密閉する方法で消毒液も使用しませんし、かさぶたもできにくいので傷跡にもなりにくいです。「ハイドロコロイド」という素材の傷パットなどがお勧めです。水にぬれても簡単には剥がれませんし、最長で5日間は使用できます。浸潤療法の絆創膏は、粘着力が強いため、皮膚が薄くて敏感な2歳以下の子どもは使うと皮膚を傷つけてしまうこともあるので使用は控えましょう。



7月の予定

5日（火）身体測定

6日（水）乳児検診

「幼児クラスでの歯磨き指導」

歯科衛生士さんとの3つのお約束



- ① 寝る前に歯磨きをしましょう
- ② おやつは時間を決めて食べましょう
- ③ 好き嫌いをせず何でも食べましょう



お約束を守って虫歯を作らないようにしましょう！！

歯磨きをした後のうがいは1回にしましょう

8～9歳までは仕上げ歯磨きが必要です

歯ブラシのチェックをして定期的に交換しましょう

6月の感染症の報告はありませんでした。

7月から9月にかけては「手足口病」「ヘルパンギーナ」「アデノウイルス（プール熱）」の3大夏風邪という感染症が流行する季節ですので注意しましょう。また異常を感じた場合は早めに病院受診をするようにしてください。